

令和4年6月2日

## 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」 第65回（通算第144回）定例会 会議録

- ◆日 時：令和4年5月17日（火） PM7：10～8：15  
◆場 所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室  
◆出席者： 26名 +オンライン 3名

別紙のとおり

### 1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：10～20：15】

19：10～

開 会

19：10～19：50

研 修

「認知症の人や家族が集う場所 認知症カフェ」

～白浜町の取組を学びましょう～

講師：白浜町地域包括支援センター

主任介護支援専門員 玉田 憲輝氏

事務員 坂本 美優氏

19：50～20：15

質疑応答

田辺圏域の市町のカフェの開催状況

20：15

閉 会

### 【研修内容】

#### ●認知症カフェ

- ・「認知症カフェ」とは  
認知症の方やその家族、介護・医療の専門職、地域の方など誰でも気軽に参加でき、「安心して過ごせる集いの場所」である。認知症に関する知識を有するスタッフが常駐することで、身近な場所で悩みや不安を相談することができる「窓口の役割」も担う。
- ・認知症カフェの設置状況（R03／3時点）  
全国：7377 カフェ（設置率 87.2%）、県内：74 カフェ（設置率 80%） 年々増加中
- ・白浜町の認知症カフェ  
令和元年6月からスタート。名称や実施内容は事業所が決定。
  - ・白浜地区：ぱる白浜
  - ・富田地区：ぬくもりの里・成華苑（R03～委託）
  - ・日置川地区：日置の郷

## ●認知症カフェ

- ・コロナ禍の活動状況について  
感染予防のため、すべてのカフェを R02/3～5 まで休止。検温や消毒等予防対策を徹底したうえで白浜地区・日置川地区で再開。感染状況をみながら、事業所が運営の判断をしている。  
富田地区は現在も休止中。
- ・課題について  
全体的に参加者が少なく、さらに認知症当事者及び家族の参加があまりない  
参加者が固定されている  
会場までの交通の便が不便（車がなければ難しい）  
周知・広報不足（理由の一つに感染予防のため、広く周知できず）  
「認知症」に対するマイナスイメージが根強く、声をかけても参加につながりにくい
- ・今後の展望について  
新規参加者獲得のため、広報活動を強化  
→町広報の掲載、各種団体への呼びかけ、イベント時にチラシ配布 など  
出張型カフェの検討  
→地域にある集まりの近くでの開催  
「認知症」にとらわれず参加できる環境づくり  
→認知症サポーター養成講座による正しい認知症の知識の獲得  
地域の方が運営に携わる（チームオレンジへの発展を検討中）

## ●質疑応答

- ・認知症のひとを介護している家族の参加状況は？いろいろな相談ごとを聞くこともあるので、しっかり周知をして、相談できる体制にしてほしい。  
→参加数は計上できていないが、参加者が少ない。  
別の事業の家族の会への参加者も少なく、その事業は中止し、ほかの認知症施策に予算をまわした。さらなる周知に努めたい  
認知症カフェに関係する事業所として、家族などに広報するがなかなか参加につながらない。
- ・田辺圏域の田辺市・みなべ町・上富田町・すさみ町の職員から各まちの取組を報告  
→課題としていることはどのまちも同じ。内容などもいろいろ考えているが、これでいいのかと思いながらしている。
- ・「待つ姿勢」ではなく、積極的に参加してみて。聞いてみて。

### ※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒
- ・マスク着用
- ・換気
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

## 【次の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和4年6月21日（火）午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：研修 未定